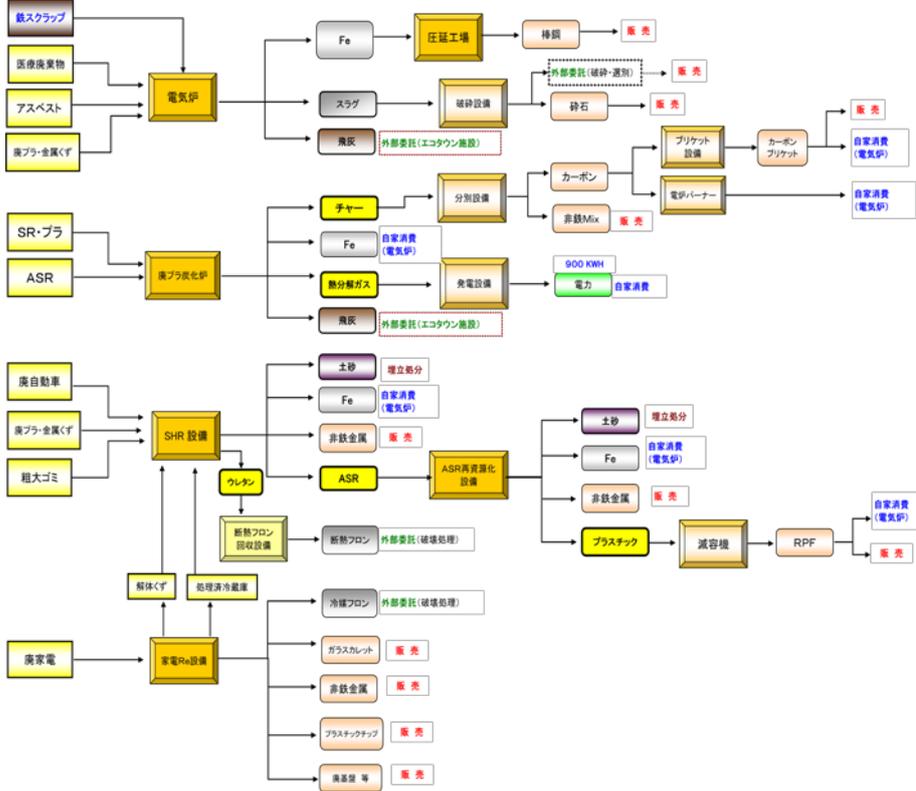


### 3.2 東北東京鐵鋼株式会社（東京鐵鋼株式会社八戸工場）

#### 3.2.1 事業者情報

名 称	東北東京鐵鋼株式会社(東京鐵鋼株式会社八戸工場)			
本社住所	〒039-1161	青森県八戸市河原木海岸 4-11		
資本金、出資金	275,001 千円			
従業員数	人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	<a href="http://www.tokyotekko-recycle.jp">http://www.tokyotekko-recycle.jp</a>			
事業概要	<p>東京鐵鋼八戸工場 1. 棒鋼の製造販売事業 <input type="checkbox"/>鉄筋コンクリート用棒鋼 <input type="checkbox"/>一般構造用棒鋼 <input type="checkbox"/>ネジフシ棒鋼 <input type="checkbox"/>ネジテツコン・ネジ継手</p> <p>2. 環境リサイクル事業 <input type="checkbox"/>特別管理産業廃棄物中間処理業（焼却・溶融）  <input type="checkbox"/>産業廃棄物中間処理業（焼却・溶融）</p> <p>東北東京鐵鋼(株) <input type="checkbox"/>産業廃棄物中間処理業（破碎選別・焼却）<input type="checkbox"/>特定家庭用機器(家電)のリサイクル事業 <input type="checkbox"/>使用済み自動車のリサイクル事業</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	資源営業部		
	担当者名	東 一洋		
	連絡先	電話番号	0178-28-6561	
		FAX	0178-28-6565	
Eメールアドレス		kazuhiko_higashi@tokyotekko.co.jp		

3.2.2 技術情報(1)

<p>キーワード</p>	<p>処理困難物</p>
<p>技術名称</p>	<p>製鋼電気炉による超高温処理</p>
<p>技術の分類</p>	<p>その他(溶融)</p>
<p>目的・用途</p>	<p>残渣の極小化と無害化処理</p>
<p>特長</p>	<p>安心・安全なリサイクル</p>
<p>設備、製品等の写真、イメージ</p>	
<p>処理フロー図</p>	

廃棄物の種類	特管産廃	廃石綿等	受入条件、形状	2重プラスチック袋をフレコン梱包・ドラム缶
	特管産廃	感染性医療廃棄物	受入条件、形状	専用容器
	産廃	汚泥(電池)	受入条件、形状	鉄製缶容器
	産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	フレコン梱包
供給資源・製品	砕石		形状	0-40
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	完全無害化が可能で安全にリサイクルできます。	

### 3.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	感染性廃棄物	非公開	非公開	t
	廃プラスチック類	非公開	非公開	t
	金属くず	非公開	非公開	t
受入可能量	感染性廃棄物	-	非公開	t
	廃プラスチック類	-	非公開	t
	金属くず	-		
販売実績量の推移	砕石	-	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			

### 3.3 八戸製錬株式会社八戸製錬所

#### 3.3.1 事業者情報

名 称	八戸製錬株式会社八戸製錬所			
本社住所	〒039-1161	青森県八戸市大字河原木字浜名谷地 76		
資本金、出資金	4,795,000 千円			
従業員数	260 人			
設立年月日	昭和 42 年			
URL	http://			
事業概要	<p>亜鉛、鉛の製錬、硫酸、石膏の製造、産業廃棄物の処分 『廃棄物の種類』 燃え殻・ばいじん(煙灰、溶融飛灰など)、汚泥(重金属スラッジ、塗料屑など)、 廃酸(廃硫酸など)、鉛電池、廃アルカリ(苛性ソーダ、消石灰など)、金属屑(亜鉛屑、鉛屑、管屑等)、乾電池(アルカリ、マンガン乾電池)、無機性汚泥、鉄残渣、 CaCO<sub>3</sub>汚泥、ガラス屑(鉛含有ガラス屑、液晶ガラス屑等)、カーボン屑、 集じんダスト、廃バッテリーなど</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	環境安全課		
	担当者名	新澤 史幸		
	連絡先	電話番号	0178-28-2103	
		FAX	0178-28-6030	
E メールアドレス		fumiya_shinzawa@ hachi.mitsui-kinzoku.co.jp		

### 3.3.2 技術情報

キーワード	溶融飛灰処理			
技術名称	脱塩・脱水・乾燥			
技術の分類	有害廃棄物処理			
目的・用途	セメント原料化			
特長	2次廃棄物が発生しない			
設備、製品等の写真、イメージ	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>脱水設備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>処理後産物</p> </div> </div>			
処理フロー図	受入溶融飛灰 → 脱塩(工程水と混合し塩素分を溶解) → 脱水(残渣とろ液を分離) → 乾燥(残渣水分を調整) → 製錬工程へ供用 → セメント原料として製品化			
廃棄物の種類	一廃・産廃	ばいじん類	受入条件、形状	事前にサンプル評価の上受入可否判定。
	一廃・産廃	汚泥	受入条件、形状	事前にサンプル評価の上受入可否判定。
供給資源・製品	スラグ		形状	砂状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	埋立せず、全量リサイクル処理が可能。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	関係排出元等の工場見学を積極的に受け入れ、処理について理解を深めて頂いている。	

### 3.3.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ばいじん、汚泥	非公開	非公開	t
受入可能量	ばいじん、汚泥	非公開	非公開	t
販売実績量の推移	スラグ(煤塵、汚泥見合分)	非公開	非公開	t
主な調達先	非公開			
主な供給先	非公開			
その他実績	非公開			

## 7.1 株式会社かずさクリーンシステム

### 7.1.1 事業者情報

名 称	(株)かずさクリーンシステム			
本社住所	〒292-0836	千葉県木更津市新港 17-2		
資本金、出資金	2,000,000 千円			
従業員数	12 人			
設立年月日	平成 10 年			
URL	<a href="http://www.kazusa-cs.co.jp/">http://www.kazusa-cs.co.jp/</a>			
事業概要	4 市(木更津市/君津市/富津市/袖ヶ浦市)の一般廃棄物及び条例により受け入れる産業廃棄物を中間処理			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	阿部隆男		
	連絡先	電話番号	0438-30-2071	
		FAX	0438-30-2077	
E メールアドレス		abe.takao@kazusa-cs.co.jp		

7.1.2 技術情報

技術名称	直接溶融・資源化システム			
技術の分類	ガス化溶融			
目的・用途	資源選別後の多様なごみを溶融			
特長	ごみを高温溶融し、スラグ・メタルに再生			
設備、製品等の写真、イメージ	<p>神奈川風が可能な資源循環型社会の構築をサポート</p> <p>資源選別後の多様なごみを溶融</p> <p>ごみ燃焼施設</p> <p>資源選別施設</p> <p>資源回収施設</p> <p>資源再生施設</p> <p>資源利用施設</p> <p>資源販売施設</p> <p>資源回収施設</p> <p>資源再生施設</p> <p>資源利用施設</p> <p>資源販売施設</p>			
処理フロー図	<p>ごみ燃焼時代を切り開く環境調和型技術を採用</p> <p>資源選別施設</p> <p>資源回収施設</p> <p>資源再生施設</p> <p>資源利用施設</p> <p>資源販売施設</p>			
廃棄物の種類	一廃	可燃ごみ	受入条件、形状	
	一廃	汚泥	受入条件、形状	
	一廃	その他(不燃ごみ)	受入条件、形状	資源選別後
	産廃	その他(紙くず等)	受入条件、形状	
供給資源・製品	スラグ		形状	
	メタル		形状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	スラグ、メタルは埋立処分されず、新たな資源としてリサイクル可能 スラグ: 路盤材等として活用 メタル: 製鉄用資源として活用
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	上記資源を安価に購入 購入価格: 約10円/t

### 7.1.3 実績情報

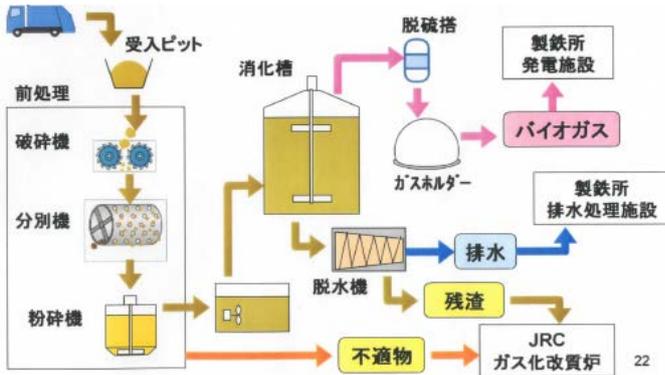
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	一廃(可燃ごみ)	104,162	104,111	t
	一廃(不燃ごみ)	2,209	1,432	t
	一廃(汚泥)	4,289	4,472	t
	産廃(可燃ごみ他)	209	254	t
受入可能量	一廃、産廃	-	450	t/日
販売実績量の推移	スラグ	12,118	8,731	t
	メタル	1,454	1,106	t
主な調達先	ごみ: 一般家庭及び事業者(自治体経由)			
主な供給先	スラグ: 自治体、土木業者他   メタル: 製鉄所他			

## 7.4 ジャパン・リサイクル株式会社

### 7.4.1 事業者情報

名 称	ジャパン・リサイクル株式会社			
本社住所	〒260-0835	千葉県千葉市中央区川崎町1番地		
資本金、出資金	1,200,000 千円			
従業員数	210 人			
設立年月日	平成 10 年			
URL	<a href="http://www.japan-recycle.co.jp">http://www.japan-recycle.co.jp</a>			
事業概要	1. 廃棄物処理業、2. 容器包装リサイクル法プラスチック再商品化事業、3. 食品廃棄物のリサイクル事業(バイオガス化)、4. 廃棄物処理に伴う精製合成ガスの製造・販売、5. 廃棄物処理に伴うスラグ等副産物の販売、6. 廃棄物処理装置・設備の運転、保守管理			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	草場孝志		
	連絡先	電話番号	043-262-4716	
		FAX	043-262-4786	
Eメールアドレス		kusaba@japan-recycle.co.jp		

7.4.2 技術情報

キーワード	メタン発酵			
技術名称	ピガダン方式バイオガスシステム			
技術の分類	メタン発酵(バイオガス化)			
目的・用途	廃棄物の処理、及びリサイクル			
特長	ガス化溶融炉との組み合わせ(カスケード処理)により、①残さを資源化、②埋立処分が不要			
設備、製品等の写真、イメージ	 <p>燃料ガス</p>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	動物性残さ	受入条件、形状	受入禁止物; ①ガラス・陶器類、 ②金属類、 ③割り箸・竹串類、 ④粘着性塊状物、 ⑤薬物・薬品、 ⑥その他メタン発酵を阻害するもの
	産廃	汚泥	受入条件、形状	
	産廃	廃油	受入条件、形状	
	産廃	廃酸	受入条件、形状	
	一廃	その他(生ごみ、厨芥類)	受入条件、形状	
供給資源・製品	燃料ガス (メタンを主成分とするガス)		形状	供給先限定
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	①廃棄物の最終処分場への埋立処分が不要	

### 7.4.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	動植物性残さ(一廃の生ごみ・厨芥類を含む)	非公開	非公開	トン
	汚泥	非公開	非公開	トン
	廃油	非公開	非公開	トン
	廃酸	非公開	非公開	トン
	廃アルカリ	-	非公開	トン
受入可能量	メタン発酵に適する産廃・一廃	-	非公開	トン/日
販売実績量の推移	燃料ガス	非公開	非公開	千Nm <sup>3</sup>
主な調達先	食品製造業者、自治体、等			
主な供給先	グループ企業			

## 12.4 株式会社アイザック

### 12.4.1 事業者情報

名 称	株式会社アイザック			
本社住所	〒937-0816	富山県魚津市大海寺野 1181		
資本金、出資金	99,000 千円			
従業員数	405 人(内エネルギーセンター 33 人)			
設立年月日	昭和 38 年 7 月 2 日			
URL	<a href="http://www.izak.co.jp">http://www.izak.co.jp</a>			
事業概要	<p>・本事業は、「廃棄物エネルギーリサイクル事業」として抑制燃焼方式によって廃棄物を焼却処理し、発生するエネルギーを回収して発電し電力供給、さらに発電で使用した低温排熱も温水として他事業所に供給しています。本施設は環境配慮型の焼却施設であり、削減される CO2 は約 16,000 トン/年で環境省の「廃棄物処理施設における温暖化対策事業」として補助金を戴いています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	環境事業本部 エネルギーセンター 業務課		
	担当者名	浜野 昭弘		
	連絡先	電話番号	076-471-5100	
		FAX	076-471-5511	
E メールアドレス		a-hamano@izak.co.jp		

12.4.2 技術情報

キーワード	廃棄物処理、再資源化			
技術名称	抑制燃焼式 キルン・ストーカー炉(ロータリーキルン・火格子)			
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却			
目的・用途	富山市エコタウン構想に基づき、本施設はこれまで処理困難とされてきた産業廃棄物を安全かつ安定的な焼却処理になっていることと同時に高効率発電を行っている。			
特長	<p>廃棄物エネルギーリサイクル事業として、抑制燃焼方式によって焼却処理し、発生するエネルギーを熱回収して発電し自社の電力供給、余剰電力は売電、蒸気を利用した汚泥乾燥、さらに発電で使用した後の低温排熱温水として近隣の企業に供給しています。またガス化焼却炉によって完全燃焼して、ダイオキシン、CO、二酸化窒素の排出を抑制、環境負荷の軽減化を図っています。</p>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	燃え殻	受入条件、形状	特になし
	産廃	汚泥	受入条件、形状	特になし
	産廃	廃油	受入条件、形状	特になし
	産廃	廃酸	受入条件、形状	重金属含有以外
	産廃	廃アルカリ	受入条件、形状	重金属含有以外
	一廃・産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	特になし
	産廃	その他(金属くず、木くず、動植物性残渣、建築廃材)	受入条件、形状	当社破砕機で破砕可能な物
	産廃	感染性産業廃棄物	受入条件、形状	600mm×400mm×400mm 以内の医療系ボックス

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発電した電気の自社利用分にて J-VER 制度に登録。J-VER クレジットの創出を行います。</li> <li>・本施設は、環境配慮型の焼却施設であり、削減されるCO2は年間で16,000トン/年となり、富山県の STOP 温暖化事業の中の新エネルギーにて削減目標の約 30%に相当します。</li> </ul>
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学受入者数 626 人 (平成 24 年 EC 実績)

#### 12.4.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥(特管含む)	0	9,678	t
	廃油(特管含む)	0	14,357	t
	廃酸、廃アルカリ(特管含む)	0	8,204	t
	廃プラ(産廃)、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、動植物性残渣	0	4,038	t
	燃え殻、ばいじん(特管含む)	0	38	t
	廃プラスチック(一般)	0	3,915	t
	感染性産業廃棄物	0	785	t
受入可能量	汚泥(特管含む)	-	10,034	t
	廃油(特管含む)	-	14,886	t
	廃酸、廃アルカリ(特管含む)	-	8,506	t
	廃プラ(産廃)、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、動植物性残渣	-	4,187	t
	燃え殻、ばいじん(特管含む)	-	40	t
	廃プラスチック(一般)	-	4,059	t
	感染性産業廃棄物	-	813	t
主な調達先	非公開			

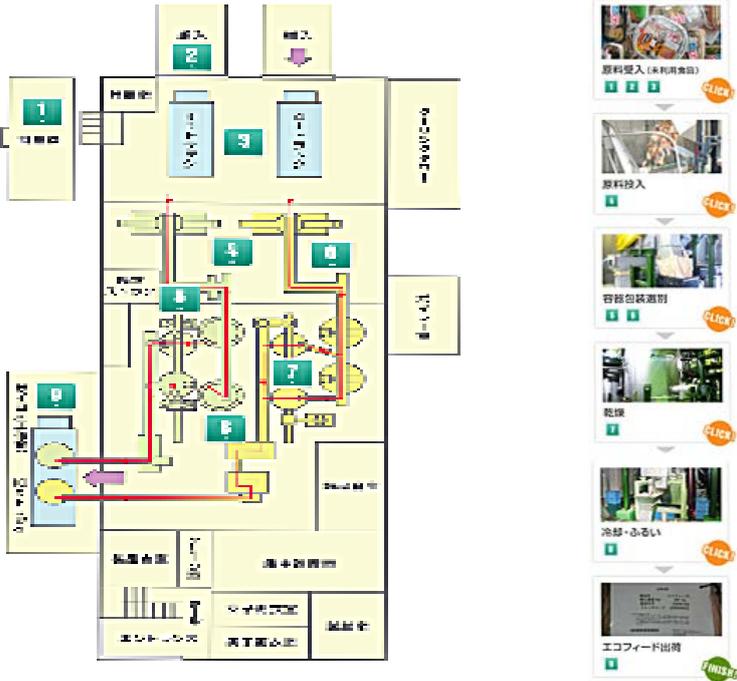
主な供給先	北陸電力株式会社(売電)
設備投資の実績 (過去5年間)	非公開
補助金等支援策の活用 実績(過去5年間)	非公開

## 15.1 エコフィード循環事業協同組合

### 15.1.1 事業者情報

名 称	エコフィード循環事業協同組合			
本社住所	〒675-2113	兵庫県加西市網引町 2001-54		
資本金、出資金	600 万円			
従業員数	10 人			
設立年月日	平成 19 年			
URL	<a href="http://www.eco-feed.org/index.html">http://www.eco-feed.org/index.html</a>			
事業概要	食品残さ(店頭販売期限切れ)からエコフィード(リサイクル飼料)の製造			
事業所写真	 			
問合せ先窓口	部署名	事務局		
	担当者名	村田		
	連絡先	電話番号	0790-49-9880	
		FAX	0790-49-9888	
Eメールアドレス		m.murata@eco-feed.org		

15.1.2 技術情報

キーワード	リサイクル 飼料 エコフィード 食品残さ 余剰食品 トレサビリティ 未利用			
技術名称	・エコフィード製造技術(乾燥技術) ・リサイクル飼料の安全管理技術			
技術の分類	・未利用食品の飼料化 ・エコフィードループシステム			
目的・用途	・リサイクル飼料の安全確保 ・霜降り豚肉作出用飼料			
特長	・おいしく安全で健康にもよい豚肉肥育飼料			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	廃酸・廃アルカリ 飲料等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	産廃	汚泥 ヨーグルト、レトル品等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	産廃	動植物性残さ 未利用食品等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	一廃	余剰食品 調理残さ	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの

供給資源・製品	エコフィード P		形状	粉状
	エコフィード S		形状	粉状
	エコフィード PM		形状	粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	市町村などでの焼却場や灰の埋立などの環境負荷コスト低減 例 神戸市での処理コスト 13 円/kg から算出すると 3664 万円の削減につながります。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	飼料マイルージの低減 二酸化炭素排出を 1 割程度に抑えることができる アメリカ産トウモロコシ、大豆を原料とする配合飼料1tの CO2 排出量 148,571kg 地産地消未利用食品を原料とする配合飼料1tの CO2 排出量は 17,539kg	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成 20 年度 食品リサイクル推進環境大臣賞受賞 1200 人の施設見学受入を実施(平成 25 年 10 月まで)	

### 15.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ロスパン	707	1,600	t
	食品残さ	61	1,966	t
受入可能量	ロスパン	-	20	t
	食品残さ	-	20	t
主な調達先	食品工場 デリカ工場 飲料工場 麺・パン・お菓子・アイスクリーム製造/加工工場			
主な供給先	養豚農家 飼料会社			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	エコフィード循環システム 食品バイオマス飼料化システム エコフィード P・S 開発			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	平成 20 年 7 億 31 百万円			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 19 年度 農林水産省農業・食品産業競争力強化支援事業 平成 20 年 新事業活動促進支援補助金(新連携支援事業) 平成 21 年度 ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発等支援事業)			

## 16.1 公益財団法人岡山県環境保全事業団

### 16.1.1 事業者情報

名 称	公益財団法人岡山県環境保全事業団			
本社住所	〒 701-0212	岡山県岡山市南区内尾 665-1		
資本金、出資金	出捐金 1,626,500 千円			
従業員数	105 人			
設立年月日	昭和 49 年			
URL	<a href="http://www.kankyo.or.jp/">http://www.kankyo.or.jp/</a>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共関与による産業廃棄物の埋立処分業</li> <li>・下水汚泥と廃プラスチック類の混合焼却事業</li> </ul>			
事業所写真	 			
問合せ先窓口	部署名	水島管理事務所 業務課		
	担当者名	角田 健二郎		
	連絡先	電話番号	086-440-0666	
		FAX	086-444-2933	
E メールアドレス		k-sumida@kankyo.or.jp		

16.1.2 技術情報

キーワード	下水汚泥、廃プラ、発電、固形燃料			
技術名称	混合焼却処理			
技術の分類	焼却処理			
目的・用途	下水汚泥と廃プラスチック類を混合焼却することにより廃棄物の安定化・減量化を図る			
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水汚泥焼却に係る熱源に廃プラだけでなく固形燃料(RDF、RPF)を使用することで、化石燃料の使用を出来るだけ抑えている。</li> <li>焼却によって生じた排熱を電気に変えて有効利用している。</li> </ul>			
設備、製品等の写真、イメージ	<p>余熱利用設備(廃熱ボイラ)</p> <p>燃焼で発生した排ガスは、廃熱ボイラで冷却されるとともに蒸気発生させてタービン発電機で発電します(一般家庭1,000軒分に相当)。この電力で施設内のほとんどの電力を賄うことができます。</p>  <p>廃熱ボイラ</p>  <p>タービン発電機</p>			
処理フロー図	 <p>廃プラスチック類</p> <p>汚泥</p> <p>固形燃料</p> <p>RDF</p> <p>RPF</p>			
廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きさ 80cm以下</li> <li>異物(金属等)を除く</li> </ul>
	産廃	汚泥	受入条件、形状	<ul style="list-style-type: none"> <li>含水率 85%以下</li> <li>バラ積みすること</li> </ul>
	有償	その他(RDF、RPF)	受入条件、形状	
		下水処理場、廃棄物中間処理業者、製造業		形状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>処理単価が明瞭であること (汚泥 15,200円/t、廃プラ 17,200円/t)</li> </ul>	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設見学者受入数</li> <li>平成 22 年 871 人</li> <li>平成 23 年 600 人</li> <li>平成 24 年 600 人</li> </ul>	

16.1.3 実績情報

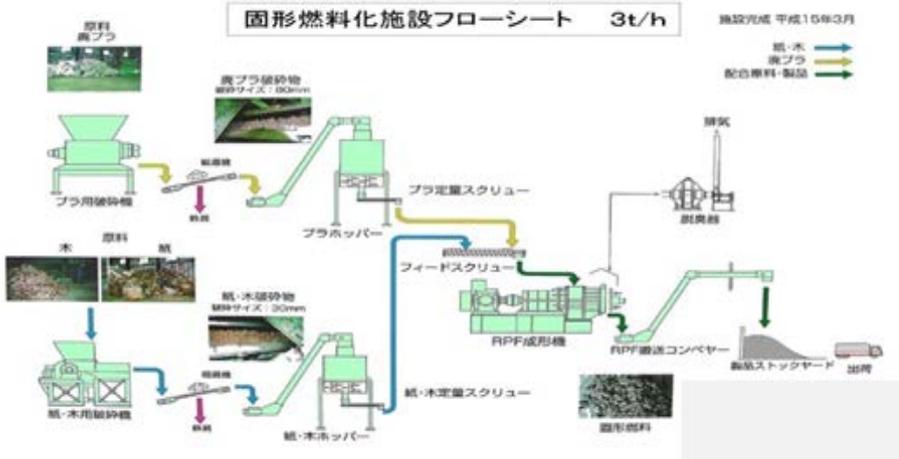
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラ類など可燃物	11,475	7,583	t
	下水汚泥、及び有機性汚泥	54,822	59,357	t
	固形燃料(RDF、RPF)	0	6,531	t
受入可能量	下水汚泥、及び有機性汚泥	-	60,000	t
	固形燃料(RDF、RPF)	-	8,000	t
主な調達先	下水処理場、廃棄物中間処理業者、製造業			

## 17.3 株式会社オガワエコノス

### 17.3.1 事業者情報

名 称	株式会社オガワエコノス			
本社住所	〒 726-0013	広島県府中市高木町 502-10		
資本金、出資金	10,000 千円			
従業員数	208 人			
設立年月日	昭和 27 年			
URL	<a href="http://www.o-econos.com">http://www.o-econos.com</a>			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物、産業廃棄物の収集運搬及び中間処理・再生</li> <li>・下水処理施設及びごみ処理施設の維持管理</li> <li>・浄化槽の維持管理及び清掃</li> <li>・固形燃料(RPF)の製造及び販売</li> <li>・肥料の製造及び販売</li> </ul>			
事業所写真	 <p>RPF製造施設（A棟） 全景 (床面積 1260㎡)</p>			
問合せ先窓口	部署名	鶉飼工場		
	担当者名	野津山 竜二		
	連絡先	電話番号	0847-47-6110	
		FAX	0847-47-6112	
Eメールアドレス		<a href="http://www.o-econos.com">http://www.o-econos.com</a>		

17.3.2 技術情報

キーワード	紙くず・木くず・廃プラ、固形燃料			
技術名称	RPF 製造技術			
技術の分類	固形燃料化(RDF,RPF)			
目的・用途	RPF は、石炭の代替え燃料として大手製紙会社のボイラーに使われています。			
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価格が石炭の 1/2～1/3 と安価である。</li> <li>・燃え殻が石炭より少ない。</li> <li>・CO2 排出量が石炭より少ない。</li> </ul>			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃木材	受入条件、形状	
	一廃・産廃	古紙	受入条件、形状	
	一廃・産廃	繊維くず	受入条件、形状	
	一廃・産廃	汚泥	受入条件、形状	含水率の低い物 (乾燥・炭化汚泥など)
	一廃・産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	塩素含有物を除く

供給資源・製品	RPF		形状	φ38mm、長 100mm
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼却埋立処分されていた廃プラ、木くず、紙くずを固形燃料化(RPF) する事によりリサイクルが可能になり、排出者はゼロエミッションを向上することができます。</li> <li>・塩素を含まない廃プラであれば、どんな種類の廃プラでも受け入れ可能です。</li> </ul>	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2 削減量: RPF 760g-CO2/kg (石炭との比較)</li> <li>・販売価格 : RPF 4~6 円/kg</li> <li>・発熱量 : 6,000kcal/kg(石炭相当)</li> </ul>	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1500 人の工場見学を実施。(平成 24 年度実績)</li> <li>・平成 15 年中国地域ニュービジネス優秀賞を受賞。</li> <li>・平成 17 年 (財)クリーン・ジャパンセンター資源循環技術・システム奨励賞を受賞</li> </ul>	

### 17.3.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラ	6,000	6,900	t
	紙くず、木くず、繊維くず	3,800	4,500	t
受入可能量	廃プラ	-	13,000	t
	紙くず、木くず、繊維くず、汚泥	-	9,000	t
販売実績量の推移	RPF	9,000	11,000	t
主な調達先	・繊維製造業、プラスチック製造業、木工業、解体業、同業者			
主な供給先	・製紙会社			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5,000 万円を投じて、三軸破碎機から一軸破碎機に変更したことにより、電気使用量が 17%削減した。</li> <li>・500 万円を投じて、塩素分析機を購入したことにより、原料が塩素含有物かの判断が容易となり、RPF の塩素含有率が低減した。</li> <li>・350 万円を投じて、粉じん対策としてミスト噴霧設備を設置した事により作業環境が改善された。</li> </ul>			

## 22.7 九州製紙株式会社

### 22.7.1 事業者情報

名 称	九州製紙株式会社			
本社住所	〒870-0114	大分県大分市小中島 2 丁目 4-45		
資本金、出資金	3,000 千円			
従業員数	47 人			
設立年月日	1970 年 6 月 18 日			
URL	<a href="http://www.kyushu-seishi.co.jp">http://www.kyushu-seishi.co.jp</a>			
事業概要	<p>西日本地域で発生する様々な古紙を再生利用し、高品質のトイレtpペーパーを生産する最新鋭工場です。</p> <p>工場より発生する製紙スラッジは、鉄鋼会社に供給するフォーミング抑制剤の原料として使用します。</p> <p>また、古紙原料中の夾雑物の廃プラスチック類は RPF(固形化燃料)の原料として使用しています。</p> <p>このようにしてあらゆる廃棄物を他の産業分野の副原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにする「ゼロ・エミッション」を目指しています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	製造部		
	担当者名	田北 泰久		
	連絡先	電話番号	093-663-7771	
		FAX	093-663-7772	
E メールアドレス		takita.yasuhisa@kyushu-seishi.co.jp		

22.7.2 技術情報(1)

キーワード	再生トイレトペーパー			
技術名称	古紙再生技術			
技術の分類	古紙選択・選別、紙繊維の調成、抄造、加工・成形(再商品化)			
目的・用途	再生商品の衛生紙トイレトペーパーの普及			
特長	産業系古紙、一般回収古紙及び難溶解性古紙を原料とした、トイレトペーパーの再生化			
設備、製品等の写真、イメージ	<p>トイレトペーパー写真</p> 			
処理フロー図	<p>古紙再生工程</p> <pre>         graph LR             A[古紙原料] --&gt; B[原料溶解工程]             B --&gt; C[原質工程]             C --&gt; D[抄紙工程]             D --&gt; E[加工工程]             E --&gt; F[再生製品&lt;br/&gt;トイレトペーパー]             C --&gt; G[・異物除去&lt;br/&gt;・夾雑物除去&lt;br/&gt;・製紙廃水排出]             D --&gt; H[*トイレト用]             E --&gt; I[*フィルム包装&lt;br/&gt;ダンボール詰]             </pre>			
廃棄物の種類	有償	古紙	受入条件、形状	ペーラー状、バラ
供給資源・製品	トイレトペーパー(衛生紙)		形状	ロール状

22.7.3 技術情報(2)

キーワード	RPF		
技術名称	減容・圧縮・固形化技術		
技術の分類	固形燃料化(RPF)		
目的・用途	固形燃料用ボイラーの熱源		

特長	原料古紙類中の廃プラスチック類＋微細紙繊維類で形成され、発熱量が安定している。			
設備等の写真	RPF 写真 			
処理フロー図	<p>RPF 製造工程</p> <pre> graph LR     A[古紙再生工場から排出された廃プラスチック類] --&gt; B[脱水・減容]     B --&gt; C[圧縮・固形化]     C --&gt; D[再生商品 固形化燃料(RPF)]           </pre>			
廃棄物の種類	産廃	廃プラスチック類(PET除く)	受入条件、形状	バラ状
供給資源・製品	RPF		形状	φ 50 mm × 100 mm

#### 22.7.4 技術情報(3)

キーワード	フォーミング抑制剤
技術名称	選別・混合技術、乾燥技術
技術の分類	乾燥・加工・成形(再生品化)
目的・用途	鉄鋼業の製鋼工程で必要とする副資材。(発泡を抑制させる効果を必要とする。)
設備等の写真	<p>フォーミング抑制剤写真</p> 

処理フロー図	フォーミング抑制剤製造工程 再生商品 固形化燃料(RPF)			
廃棄物の種類	産廃	汚泥(製紙スラッジ)	受入条件、形状	バラ状
供給資源・製品	フォーミング抑制剤		形状	45 mm × 45 mm × 50 mm

### 22.7.5 実績情報

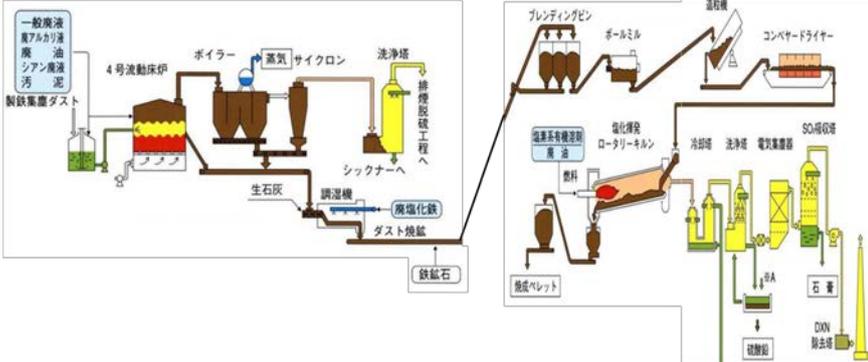
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	古紙	非公開	非公開	t
	汚泥(製紙スラッジ)	-	非公開	t
	廃プラ	-	非公開	t
受入可能量	古紙	-	非公開	t
	製紙スラッジ	-	非公開	t
販売実績量の推移	トイレットペーパー	非公開	非公開	t
	フォーミング抑制剤	非公開	非公開	t
	RPF	-	非公開	t
主な調達先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙: 大手商社、古紙問屋等</li> <li>・汚泥(製紙スラッジ): 自社、当社グループ工場</li> <li>・廃プラスチック類: 自社</li> </ul>			
主な供給先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレットペーパー(衛生紙): 問屋、スーパー、大型量販店等</li> <li>・フォーミング抑制剤: 鉄鋼業界</li> <li>・RPF: 大型固形燃料用ボイラー所有の大手製紙会社</li> </ul>			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡県リサイクル施設整備費補助事業(平成21年度)</li> <li>・福岡県リサイクル施設整備費補助事業(平成24年度)</li> </ul>			

## 22.17 光和精鉱株式会社

### 22.17.1 事業者情報

名 称	光和精鉱株式会社			
本社住所	〒804-0002	福岡県北九州市戸畑区大字中原 46-93		
資本金、出資金	10 億円			
従業員数	150 人			
設立年月日	1961/2/10			
URL	<a href="http://www.kowa-seiko.co.jp/">http://www.kowa-seiko.co.jp/</a>			
事業概要	<p>○製鉄ダストのリサイクル ～          新日鐵住金(株)八幡製鐵所で発生する製鉄ダストを処理(=「塩化揮発による不純物元素の除去」と「成型・焼成」)し、製鉄ペレットとして再資源化</p> <p>○各種廃棄物の処理 ～          上記の処理プロセスの中で、各種の廃棄物を処理(=「廃油による燃料油の代替 等の廃棄物による原燃料の代替」や「含塩素廃棄物を塩化揮発の塩素源として活用 等の補助材料化」)により、廃棄物を有効活用しつつ処理)を実施し、「要埋め立て残渣を生じないゼロエミッション」の廃棄物処理を実現。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	戸塚 司		
	連絡先	電話番号	093-872-2100	
		FAX	093-884-0666	
E メールアドレス		totsuka@kowa-seiko.co.hjp		

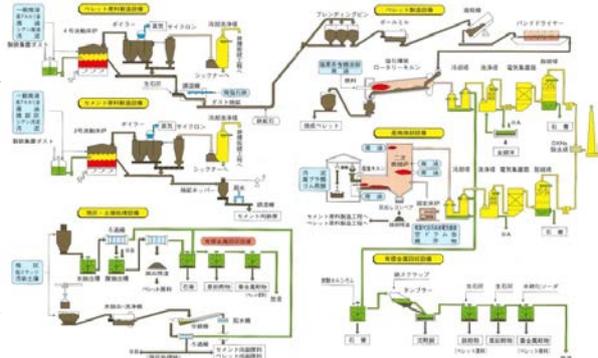
22.17.2 技術情報(1)

キーワード	製鉄ダスト, リサイクル, 塩化揮発			
技術名称	製鉄ペレットの製造			
技術の分類	加工・成型(再生品化)			
目的・用途	製鉄ダストのリサイクル			
特長	塩化揮発法により、不純物除去と成型・焼成を実施			
設備、製品等の写真、イメージ	 <p>ペレットキルン  製鉄ペレット </p>			
処理フロー図	 <p>処理フロー図: 4号流動床炉、ボイラー、サイクロン、洗浄塔、シクナーへ、生石灰、調湿機、廃塩化鉄、ダスト回収、鉄鉱石、プレントングレン、ボールミル、コンバードライヤー、塩化揮発、ロータリーキルン、冷却塔、洗浄塔、電集集塵器、SO<sub>2</sub>回収塔、石炭、DIN 除去塔、磁選機、生成ペレット</p>			
廃棄物の種類	有償	製鉄ダスト	受入条件、形状	高炉集塵ダスト
供給資源・製品	製鉄ペレット		形状	10mm φ
アピールポイント	<p>廃棄物等排出者側のメリット</p> <p>例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</p>	<p>製品購入者側のメリット</p> <p>例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等</p>	<p>八幡製鐵所より原料となる製鉄ダストを購入し、生産した製鉄ペレットは八幡製鐵所に販売する。八幡製鐵所にとっては、「貴重な鉄原を社外に流出させる事無く、自社の原料として再利用できる。」、「高不純物・粉状で使用困難な製鉄ダストが、低不純物・球形の製鉄ペレットに加工される事により、高炉原料として使用可能となる。」等の点で、メリットがある。また、除去した製鉄ダスト中の不純物元素(Zn, Pb等)についても、回収して非鉄精錬会社に非鉄金属原料として販売・活用している。製鉄ダストに含まれる炭素分(コークス粉由来)も、焼却熱で蒸気を作る事で熱回収している。マテリアルリサイクル, サーマルリサイクルで総合的なリサイクルを実現している。</p>	

22.17.3 技術情報(2)

キーワード	廃棄物, リサイクル, セメント原料		
技術名称	セメント焼鉱の製造		
技術の分類	加工・成型(再生品化)		
目的・用途	廃棄物中の鉄分をセメント原料として有効活用		
特長	流動焙焼炉を使用した焙焼処理		
設備等の写真			
処理フロー図			
廃棄物の種類	産廃	各種産業廃棄物	受入条件、形状
供給資源・製品	セメント焼鉱		形状 粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	金属元素も含有する廃棄物では、埋め立て処理する場合には不溶化処理で処理費が高くなる。当社で処理する場合には、そうした手間やコストを必要としなくなる。
	製品購入者側のメリット	例)環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	セメント焼鉱を購入するセメント会社にとっては、「セメント原料の一つとして必要な鉄分の、長期的・安定的な供給源が確保できる。」という点でメリットがある。

22.17.4 技術情報(3)

キーワード	廃棄物, 焼却, 再資源化, ゼロエミッション		
技術名称	産業廃棄物の処理		
技術の分類	有害廃棄物処理		
目的・用途	各種の産業廃棄物の処理		
特長	ゼロエミッション(=要埋立て残渣無し), 高塩素含有物等の難処理物の処理にも対応		
設備等の写真	 <p style="text-align: right;">産廃炉</p>		
処理フロー図	<p>産廃炉を中核に、処理を実施。項目名に青枠かけしているのが廃棄物で、その性格に応じた工程にて処理を実施する。</p> 		
廃棄物の種類	一廃・産廃	汚泥, ASR, 燃え殻, 飛灰	受入条件、形状
	産廃	廃油, 廃アルカリ, 廃酸	受入条件、形状
	産廃	その他の各種廃棄物	受入条件、形状
供給資源・製品	水酸化亜鉛		形状 粉状
	銅滓		形状 粉状
	石膏		形状 粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	塩化揮発を中核とした処理工程で処理するため、難処理物(～高ハロゲン物を含めた多様な難処理物)に対応でき、且つ、ゼロエミッションでその処理が出来る。

## 22.17.5 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	32,246	27,620	Ton
	廃油	39,452	30,467	Ton
	廃酸	40,206	35,227	Ton
	廃アルカリ	60,262	54,978	Ton
	その他の各種廃棄物	28,050	20,737	Ton
販売実績量の推移	製鉄ペレット	116,827	116,975	Ton(Dry)
	セメント焼鉱	33,167	12,051	Ton(Dry)
	水酸化亜鉛	3,852	3,376	Ton(Dry)
	銅滓・金銀滓	975	591	Ton(Dry)
	その他(石膏 等)			Ton(Dry)
主な調達先	主要な原燃料の調達先は新日鐵住金(株)八幡製鐵所〔製鉄ダスト, LD G〕。副資材(排水処理の石灰・炭酸カルシウム など)については、省略。			
主な供給先	当社の業である製鉄ダストのリサイクル, 及び, 廃棄物(産廃, 一廃)の処理を通じて生産・回収した製鉄ペレット, 蒸気, セメント焼鉱, 水酸化亜鉛, 銅滓, 石膏 等については、製鉄業, 非鉄製錬業, セメントへ向けて出荷・販売しています。			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	製鉄ダストの処理について長年の研究実績があります。			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	年間約 10 億円程度の設備投資を行っています。			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	当社事業としての海外展開は実施していません。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	グリーンニューディール事業の補助金を受けております。			

## 22.20 アミタ株式会社

### 22.20.1 事業者情報

名 称	アミタ株式会社		
本社住所	〒102-0073	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号 メヂカルフレンドビル 2 階	
資本金、出資金	473,239 千円		
従業員数	158 名(アミタグループ連結)(2014 年 1 月 1 日現在)		
設立年月日	1977 年 4 月 1 日		
URL	<a href="http://www.amita-net.co.jp/">http://www.amita-net.co.jp/</a>		
事業概要	<p>総合環境ソリューションの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物再資源化サービス</li> <li>・環境管理業務支援サービス</li> <li>・環境・CSR マーケティング支援サービス 等</li> </ul>		
事業所写真	<p><a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/kitakyushu.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/kitakyushu.html</a></p> 		
問合せ先窓口	部署名	コミュニケーション戦略グループ 共感資本チーム	
	担当者名	広報担当(蝦名 裕一郎)	
	連絡先	電話番号	075-277-0795
		FAX	075-255-4527
E メールアドレス		press@amita-net.co.jp	

22.20.2 技術情報

キーワード	持続可能社会の実現、100%再資源化、廃棄物処理			
技術名称	産業廃棄物を原料とした循環資源の製造			
技術の分類	その他(調査)			
目的・用途	独自の技術で混錬、調合(調整・混合)を行い、セメント原料化や金属原料化			
特長	単体では再資源化困難な発生品(廃棄物)を調合し、再資源化可能な循環資源としてユーザーに提供しております。 <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/">http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/</a>			
設備、製品等の写真、イメージ	セメント原料系： <a href="http://www.amita-net.co.jp/images/prod2.jpg">http://www.amita-net.co.jp/images/prod2.jpg</a> セメント燃料系： <a href="http://www.amita-net.co.jp/images/prod3.jpg">http://www.amita-net.co.jp/images/prod3.jpg</a> 特殊鋼原料(Ni、Cr)： <a href="http://www.amita-net.co.jp/images/prod4.jpg">http://www.amita-net.co.jp/images/prod4.jpg</a> 金属原料(Cu)： <a href="http://www.amita-net.co.jp/images/prod5.jpg">http://www.amita-net.co.jp/images/prod5.jpg</a>  説明ページ： <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/products-listing.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/products-listing.html</a>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、鉱さい、ダスト類、全 11 種類	受入条件、形状	成分、性状により判定。
			受入条件、形状	
供給資源・製品	セメント原料 燃料系	形状	泥状	
	セメント原料 原料系	形状	泥状	
	金属原料 Ni-Cr 系	形状	泥状	
	金属原料 Cu 系	形状	泥状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	<p>例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100%再資源化、副次的に発生する廃棄物が存在しない。</li> <li>・単体では再資源化が難しい廃棄物も調合によって再資源化できる可能性が高い</li> <li>・100%再資源化のため将来的な廃棄物の残存リスクがない。</li> </ul> <p>埋め立てリスク:  <a href="http://www.amita-oshiete.jp/qa/entry/001818.php">http://www.amita-oshiete.jp/qa/entry/001818.php</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・100%再資源化のため、再資源化率の計算がしやすい</li> <li>・港湾を使った海運中心のため、輸送コストと重量ベースで輸送時二酸化炭素が陸送と比べて低い</li> <li>・アマタ株式会社はジャスダック上場企業であるアマタホールディングス株式会社の100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。</li> </ul> <p><a href="http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html">http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・安全・地域貢献:  <a href="http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf">http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf</a></li> </ul> <p>※～全国5つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001認証取得を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路、京丹後、茨城の製造所は優良認定許可取得済みです。(川崎、北九州は5年経過後申請予定)</li> <li>・企業環境担当者様向けの無料・有料のソフトサービスも充実しています。<a href="http://www.amita-net.co.jp/management/">http://www.amita-net.co.jp/management/</a></li> <li>・自社で受入不可能な廃棄物も再資源化ネットワークを駆使して受け入れ先を見つけます。  <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/network.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/network.html</a></li> </ul>
	製品購入者側のメリット	<p>例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定品質、物量の安定した副原料の活用。</li> <li>・化石燃料の使用量削減</li> <li>・コスト削減、収益の改善</li> <li>・アマタ株式会社はジャスダック上場企業であるアマタホールディングス株式会社の100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。</li> </ul> <p><a href="http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html">http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・安全・地域貢献:  <a href="http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf">http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf</a></li> </ul> <p>※～全国5つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001認証取得を実現</p>
	その他	<p>例) 受賞歴、施設見学受入者数、等</p>	<p>見学実績:2013年:91団体 152名  マレーシア環境局等海外の受入実績多数  <a href="http://www.amita-hd.co.jp/news/post_1061.html">http://www.amita-hd.co.jp/news/post_1061.html</a></p>

22.20.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	未稼働	非公開	t
	燃え殻	未稼働	非公開	t
	廃油	未稼働	非公開	t
	廃プラスチック類	未稼働	非公開	t
	ばいじん	未稼働	非公開	t
	木くず	未稼働	非公開	t
	動植物性残さ	未稼働	非公開	t
	ガラスくず	未稼働	非公開	t
	鋳さい	未稼働	非公開	t
受入可能量	400 m <sup>3</sup> /日	③産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の種類、 ④処理能力 燃え殻 79.8t/1日(8時間) 汚泥 312m <sup>3</sup> /日(8時間) 廃油 70m <sup>3</sup> /日(8時間) 廃プラスチック類 77t/日(8時間) 紙くず 5.4t/日(8時間) 木くず 9.9t/日(8時間) 動植物性残渣 18t/日(8時間) 金属くず 79.1t/日(8時間) ガラスくず 70t/日(8時間) 鋳さい 135t/日(8時間) ダスト類 88.2t/日(8時間)		
		■開示情報 <a href="http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u5.php?Param1=8&amp;Param2=60035&amp;Param0=&amp;menu=2">http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u5.php?Param1=8&amp;Param2=60035&amp;Param0=&amp;menu=2</a>		
出荷実績量の推移	セメント原料系	未稼働	283	t
	セメント燃料系	未稼働	15,351	t
	特殊鋼原料	未稼働	220	t
	<a href="http://www.amita-net.co.jp/pdf/performance.pdf">http://www.amita-net.co.jp/pdf/performance.pdf</a>	未稼働		

主な調達先	化学、電気、鉄鋼、製紙、精密機器等、各業種
主な供給先	セメント・非鉄・鉄鋼メーカー
技術開発の実績 (過去 5 年間)	非公開
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開
海外展開の実績 (過去 5 年間)	<p>海外からの研修、見学を積極的に受入。事業展開も検討中。 1980 年代から海外事業を展開しており、産物(有価物)、廃棄物を原料として捉えた輸出入の取り引きのほか、一部の国ではセメント代替燃料に関する特許をライセンスしました。</p> <p>▼取引実績国 台湾／韓国／中国／ロシア／フィリピン／シンガポール／インドネシア／マレーシア／タイ／アメリカ等</p> <p>▼海外オフィスと現地法人 韓国には 1991 年にオフィスを開設し、2011 年には台湾に現地法人を設立しました。台湾では、太陽電池の製造工程で排出される廃棄物の再資源化施設を、台南市にて計画しています。 <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/global.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/global.html</a></p> <p>2014 年は台湾における再資源化プラントの設置・稼働準備およびマレーシアでの再資源化事業検討など、急成長する海外市場の開拓を推進します。 <a href="http://www.amita-hd.co.jp/news/2014_1.html">http://www.amita-hd.co.jp/news/2014_1.html</a></p>
補助金等支援策の活用実績 (過去 5 年間)	非公開
その他実績	<p>■受賞歴 第 9 回エコプロダクツ大賞優秀賞(2012 年) グッドデザイン賞(2001 年) 資源循環技術・システム表彰 CJC 会長賞(1996 年)他。 <a href="http://www.amita-hd.co.jp/company/award.html">http://www.amita-hd.co.jp/company/award.html</a></p> <p>■再資源化実績・取扱品目： <a href="http://www.amita-net.co.jp/recycle/performance.html">http://www.amita-net.co.jp/recycle/performance.html</a></p>